



平成 31 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 和田 節  
コ ー ド 番 号 6707 (東証 市場第一部)  
問 合 せ 先 財務 IR 統括部長 後藤 明弘  
T E L (048) 487-6121

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の市況動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 8 日に公表した平成 31 年 3 月期の通期業績予想を修正いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) 平成 30 年 5 月 8 日公表	百万円 178,000	百万円 12,500	百万円 11,000	百万円 4,800	円 銭 198.04
今回修正予想(B)	175,000	10,000	8,200	2,600	107.29
増減額(B-A)	△3,000	△2,500	△2,800	△2,200	—
増減率(%)	△1.7%	△20.0%	△25.5%	△45.8%	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	175,209	12,026	11,808	△11,421	△471.22

(注) 当社は平成 30 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。表中の 1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期初に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

#### 2. 修正の理由

米中間の貿易問題長期化が、中国景気をさらに減速させ、世界の实体经济に影響を及ぼし始めております。これが、中国における自動車販売の低迷や白物家電の在庫調整の長期化などをもち、当社の受注状況に変化が生じてまいりました。

こうした世界経済の動向と市況変化により、売上減少と製品ミックス悪化による利益減少が想定されます。さらに、戦略市場向け製品の開発投資及び費用増も見込まれることから、期初に公表した予想値を下回る見通しとなり、通期連結業績予想を修正することといたしました。

なお、第 4 四半期の想定平均為替レートにつきましては、対米ドル 108 円を想定しております。

以 上

(注) 上記の業績予想値及び将来に関する記述は、現時点で当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により異なる可能性があります。